

学びにくさを持つ生徒の指導 ～発達障がいの特徴と支援方法～

平成28年12月8日(木)

主催 学習サポート教室 すてっぷ

本日の予定

- ① 発達障がいについての基本知識と最近の動向

学習サポート教室 すてっぷ代表 宮原 一憲

- ② 学びにくさを持つ生徒の指導

～発達障がいの特徴と支援方法～

東京中目黒教室長 岡村 矢恵子

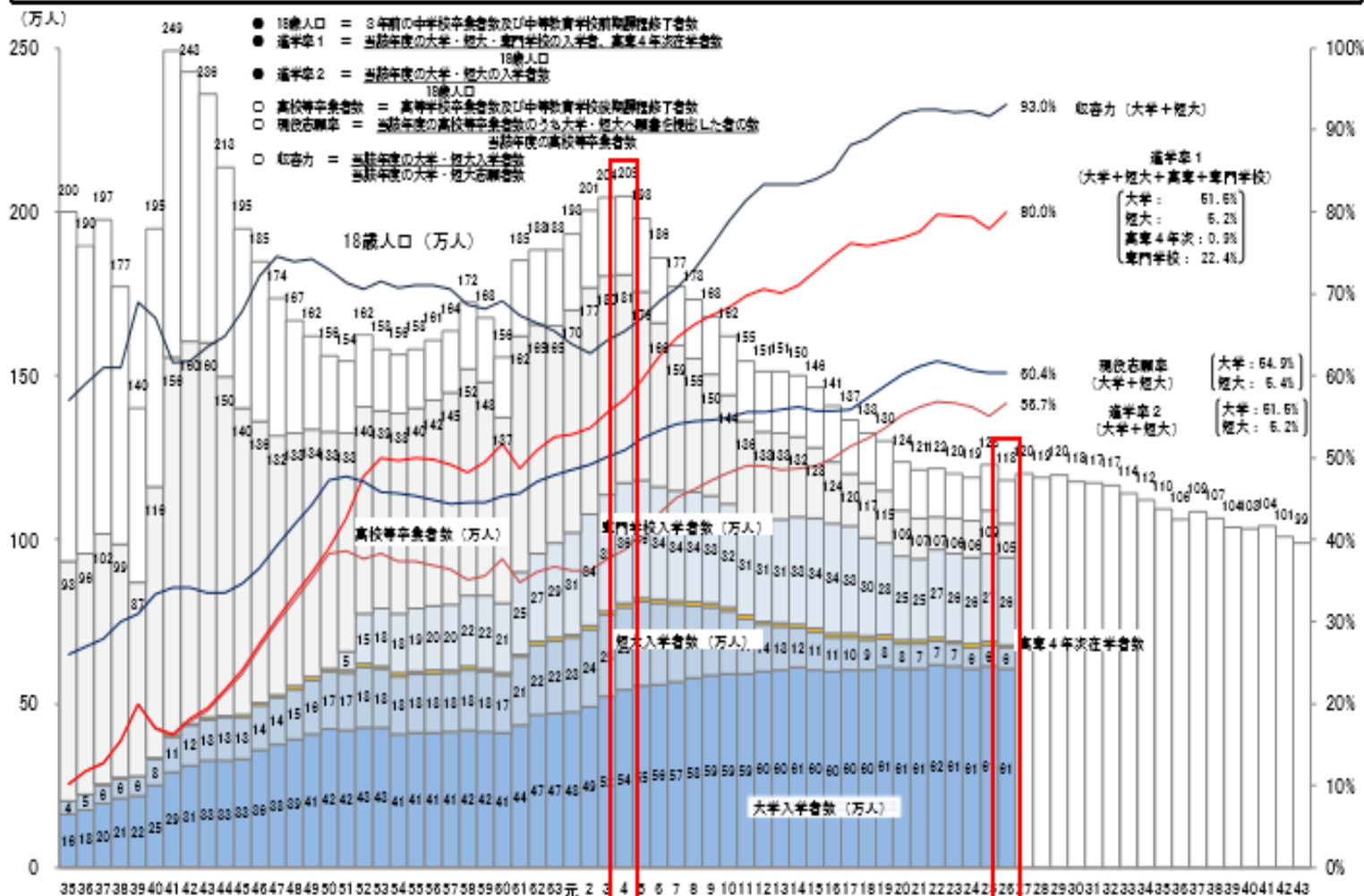
- ③ 質疑応答

- ④ 個別相談

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

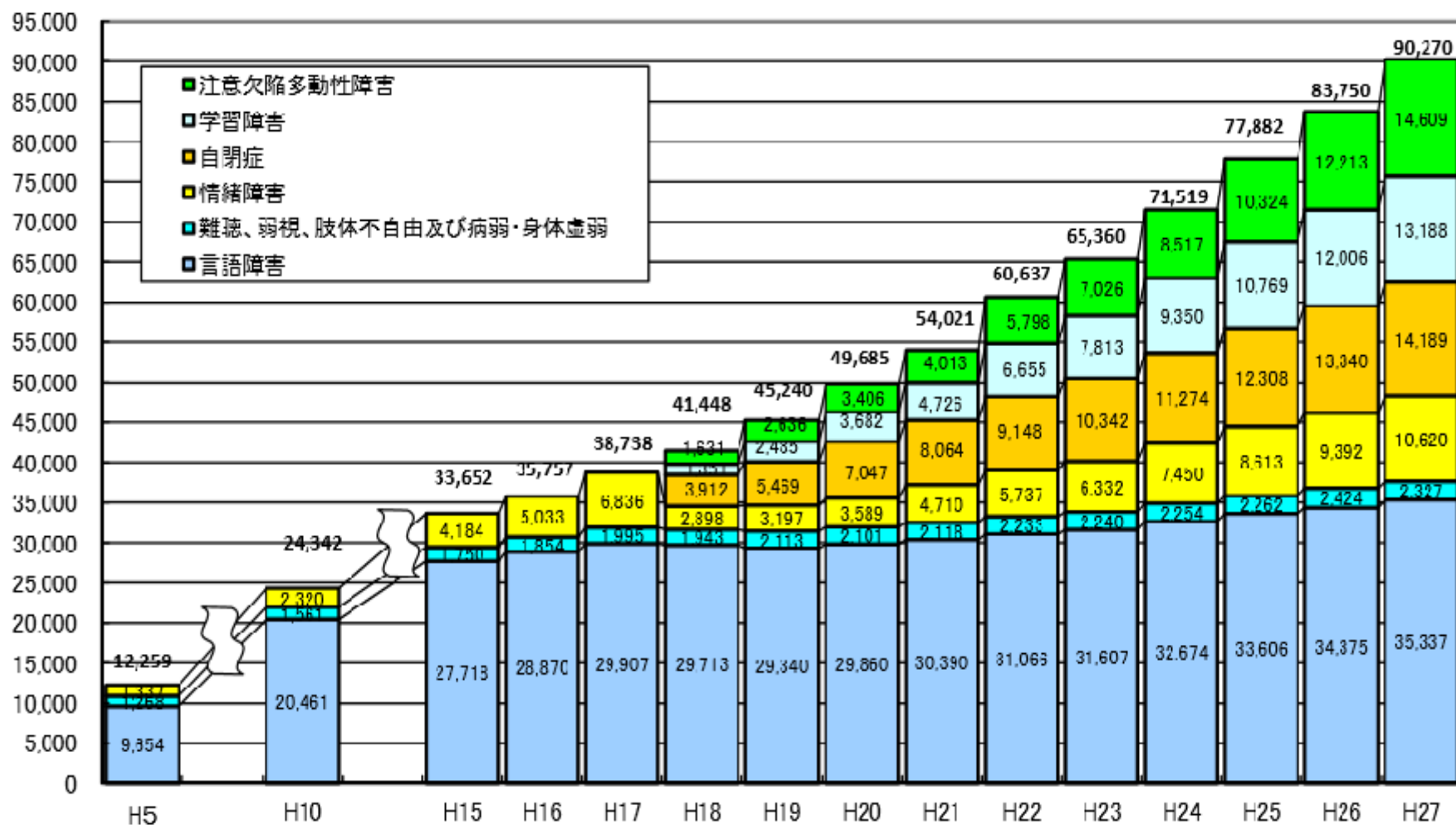
科学技術イノベーション人材の
育成・流動化

- 18歳人口は、平成21～32年頃までほぼ横ばいで推移するが、平成33年頃から減少することが予測されている。(18歳人口について、平成4年度：205万人→平成26年度：118万人)
- 高等教育機関への進学率は、ここ数年頭打ち。



出典：文部科学省作成資料を基に、内閣府作成

通級による指導を受けている児童生徒数の推移(公立小・中学校合計)



出典:文科省HP「特別支援教育について」より抜粋

発達障がいとは



※この図は、ICD-10と DSM-IV-TR、DSM-5を参考にして作成した概念図です。

LITALICO発達ナビ

(https://h-navi.jp/uploads/cache/article/201512/104/97dba8d8ff5e4d78225a9d27483564d5e8090f99_1.png)

より抜粋

学習障害 (Learning Disabilities) の定義

- 学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。
- 学習障害は、その原因として、中枢神経に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

「学習し障害児に対する指導について」(平成11年7月)より抜粋
(学習障害及びこれに類似する学習上の困難を有する児童生徒の指導方法に関する調査研究協力者会議)

注意欠陥/多動性障害

(Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)の定義

注意欠陥/多動性障害とは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経に何らかの要因による機能不全があると推定される。

「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」(平成15年3月)より抜粋

(特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議)

広汎性発達障害※

(Pervasive Developmental Disorders : 略称PDD)
の定義

- コミュニケーションと社会性に障害があり、限定的・反復的および常同的な行動があることを特徴として分類される発達障害のグループである。
- 自閉症・アスペルガー症候群・特定不能の広汎性発達障害・小児期崩壊性障害、レット障害が含まれる。
- 先天的な素因によって起こる発達障害の一つとして医学的には捉えられている。

※現在は、自閉症スペクトラムと定義されるようになってきている

LITALICO発達ナビ (<https://h-navi.jp/column/article/184>)より抜粋

学習障害(LD)の診断基準

- 全般的認知能力は平均的である
 - ◇ 知的水準は平均的なそれ以上
 - ◇ 運動機能に大きな問題がない
 - ◇ 感覚障害がない
 - ◇ 学習に不利な環境ではない
- 学習に困難がある(2学年以上の遅れ)
- 中枢神経系の機能障害が想定される

学習障害と言われる子どもの特徴

- 読むこと・書くことなどに問題
- 計算や推論の難しさ
- 抽象的表現への理解の難しさ
- 自分で自分の行動を抑制する難しさ
- 多動・不注意

(AD/HDの半数以上は、LDを合併する)

AD/HDの診断基準

- 多動性と衝動性(7歳以前より続く)
- 不注意や不器用さ(同上)
- 家と外の状況の少なくとも2箇所以上で上記のような態度が見られる
- 発達年齢にふさわしい社会適応を妨げている

AD/HDと言われる子どもの特徴

- 多動
- 落ち着きがない
- 注意が散漫
- ケアレスミスが多い
- 言われたことをすぐ忘れる
- 不安が高まったり、作業が増えたりすると多動や落ち着きのなさが増す

AD/HDとよく似ている症状

知的障害・・・その子供の発達レベルに応じた環境、課題を与えた状況で、同じ発達レベルのほかの子供と比べて多動一衝動性、注意集中の障害を判断する。

広汎性発達障害・・・注意集中が悪い面は共通、成長してくると対人性の問題が目立つようになる。

被虐待児(愛着障害)・・・AD/HDとの共通点が多い(後述)、
解離症状が見られる

※解離・・・耐え難い状況に直面したときに、その出来事を忘れたり、空想に耽ったり、何かに熱狂したりする(被虐待による後天的な現実への対処法的意味合いが強い)

愛着障害とAD/HDとの共通点・相違点

項目	愛着障害	AD/HD
多動性行動障害	ある	ある
ハイテンション	ある	ある
不器用で整理整頓が苦手	ある	ある
けんか	ある	ある
AD/HDのタイプ	不注意優勢型が多い	混合型が多い
多動のムラ	特に午前中は抑うつが多く 夕方からハイテンションになる	1日中ほぼ同じ
対人関係	逆説的で複雑	単純で素直
薬	少量のSSRI、リスペリドン などの抗精神病薬、 クロニジンなどの鎮静作用の ある高血圧の薬	(コンサータ) メチルフェニデート
非行への移行	多い	少ない

広汎性発達障害

(Pervasive Developmental Disorders : 略称PDD)

の診断基準

以下の4点を満たしていること。

- 社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害がある。
- 限定された反復する様式の行動、興味、活動を示す。
- 症状は発達早期の段階で必ず出現するが、後になって明らかになるものもある。
- 症状は社会や職業その他の重要な機能に重大な障害を引き起こしている。

Es Discovery Logs (<http://esdiscovery.jp/index.html>) より抜粋

広汎性発達障害

(Pervasive Developmental Disorders : 略称PDD)

と言われる子供の特徴

●社会性・対人関係の障害

4つの特徴に分かれる(孤立型、受動型、積極・奇異型、尊大型)

●コミュニケーションや言葉の発達の遅れ

言葉の発達が遅い、会話が苦手、言葉を意味通りに理解してしまう、抽象的な言葉の理解が困難など

●行動と興味の偏り

- ・予定の変更や初めての場所などに苦痛を感じる
- ・食事へのこだわりが激しいなどの偏食
- ・パターン化していない自由時間などが苦手
- ・普段はできていることが場所が変わるとできない など

LITALICO発達ナビ(<https://h-navi.jp/column/article/175>)より抜粋

LDの子どもたちへの学習上の配慮

- 認知機能の偏りからくる能力や技能の得意不得意にバラツキがあるので、その子どもの特性を把握することが重要

◇ 見て理解することが得意な子には
「言葉より絵や図を中心とした説明を！」

◇ 聞いて理解することが得意な子には
「絵よりも音声を中心とした説明を！」

AD/HDの子どもたちへの学習上の配慮

- 子どもの行動(状態)は、条件(場面や相手等)によって異なるため、複数の目で見えていくこと、
また、ほかの問題との関連で考える必要がある
 - ◇ 刺激が多くならないような環境の整備
「できるだけシンプルな部屋または教室で！」
 - ◇ 達成感を味わえるような機会を設ける
「できたことは具体的にほめてあげる。ただしほめすぎないこと！」
 - ◇ 全体の指示の後で、その子に対して個別に指示する
「正面から、目を見て、わかりやすく！」

広汎性発達障害の 子どもたちへの学習上の配慮

- 相手の立場に立って物事を考えることや、
比喩を使った表現や理解することが困難であり、
こだわりが強い面がある特徴を理解しておく
ことが重要
 - ◇ 絵や写真を使って具体的に伝える
あいまいな表現は苦手なので、具体的な言い方をする
 - ◇ 大声で叱らない
叱るときには感情的にならず、具体的に注意する
 - ◇ 無理に止めない
あらかじめ何回やったら終わりと決めたり、
違うことに集中するための課題を与える
 - ◇ 得意分野を見つけて褒めて伸ばす
何が得意かを理解し、共有し、具体的に褒める

発達障がい児への効果的な学習1

- 生徒の興味関心・能力レベルに合わせる
- 出来ること、出来ないことを客観的にとらえ、出来ることをほめる
- つまづいた箇所を的確に判断し、その箇所に戻り、積み上げていく。
- 場合によっては、デジカメ、ボイスレコーダ、パソコン、電卓などの使用を許す
- 宿題は生徒の能力の範囲に制限する

発達障がい児への効果的な学習2

- 視覚的優位なのか、聴覚的優位なのかを判断し、特性に応じた的確な補助をする
- ただ教えるのではなく、自分で解決する方法を考えさせる
- 分からないことは聞いて大丈夫と認識し、SOSを出す力を養う
- 予測、計画性のある、見通しの立つプログラムで行う